

平成 29 年 6 月 12 日発行

キャリア・アップ NEWS6月号

《経営者・管理者が読むニュースレター》

「フィードバック」

耳の痛いことを部下に伝えて、部下の成長を立て直す人材育成法

経営者・管理者として「フィードバック」が重要であると提唱しているのは 東京大学 准教授 中原淳氏です。中原氏は部下に対して「何故、フィードバックが重要であるか」の理由は3つあると言っています。

【第一の理由】としては、成果の上がない部下をどのように立て直していくかというニーズが、一個人の問題を越えて組織全体の問題として、あるいは日本全体を覆い尽くす問題として高まってきていること。

【第二の理由】は、「年上の部下」に代表される、職場の多様な人材に悩まされているマネジャーが増えているということ。

【第三の理由】は、ハラスメントに対する意識が過剰に高まり、「部下を傷つけるかもしれないことを、どこまで言っているのか」という懸念がマネジャーの間に広まっていることです。

フィードバックで大切なのは、改善してもらいたいことについてよく観察し、本人には鏡のように話すこと。そのためには、①シチュエーション (Situation)、②ビヘイビア (Behavior)、③インパクト (Impact) を押さえることが重要と言っています。たとえば、「A社のプロジェクトを担当してもらったけれども (=シチュエーション) 君のスケジュール管理に不備があったことで (=ビヘイビア) 納期が一週間も遅れてしまったようだね (インパクト)」といった具合に伝えることが重要だと言っています。

また、厳しいフィードバックをした後に、フォローのためかほめたりする上司がいるが、これは逆効果と中原氏は指摘してします。本人に反省を促すのに、ほめたりしたら、本当に伝えたかったことは忘れ去られてしまう可能性が高いということです。ですから、部下が自己のパフォーマンス等を認識し、自らの業務や行動を振り返り、今後の行動計画を立てる支援を行うこと(振り返りと、アクションプランづくり支援)をしていくことが重要だと言っています。 ティーチングとコーチングの両方の活用がポイント

★耳の痛いことを部下に伝えて、部下の成長を立て直す



1. 情報通知(鏡のように伝え返すこと)

たとえ耳の痛いことであっても、部下の振る舞いについての情報や結果をしっかりと伝えること

2. 立て直し(言いつ放しにしない)

自己のやっていた振舞いを認識し、「振り返り」と「今後の行動計画」を立てる人を支援する

□配信停止 (FAX :)

□メール配信切り換え (メールアドレス)

ご記入の上、弊社FAX053-411-6859まで送信をお願い致します。

お知らせ

9 月スタート!! 実践的な学びにすぐに使える内容を少人数制で提供!!

リーダーシップ・トレーニング研修

1. 部下との良好な関係を維持しつつ、言うべきことを言う、叱るべきことを叱るスキルを学ぶ
2. 「やらされ感」から「自発性・主体性を引き出す」リーダーシップのスキルを学ぶ
3. 最近の部下の傾向からもひるまず部下指導ができるタイプ別(下記6つ)の関わり方を学ぶ

- ①上司のお前が間違っている「思い込み」タイプ ②何でも他人のせいにする「傍観者」タイプ
 ③都合よく解釈する「勝手な解釈」タイプ ④お膳立てしても挑戦しない「ノーリスク」タイプ
 ⑤昔取った杵柄をふりかざすタイプ ⑥前評判と現状が違う「他では優秀」タイプ

＜活用技法＞【1】 相手(部下)の「やる気」と行動を引き出す「コーチング技法」

【2】 「ティーシング」+「フィードバック技法」を取り混ぜてのトレーニング

【3】 チームのやる気を引き出す「ファシリテーションスキル」で、明日からでも即使えるように

第 1 回	部下がみるみる「やる気」になる コーチング技法の習得
第 2 回	フィードバック技法・ 最近の 6 つの部下傾向に対して、どう関わるかのスキル
第 3 回	チームのやる気を引き出すファシリテーションスキル
期間中	★個別フォローの実施(参加者一人ひとりに対しての面談実施)

◇開催日程：平成 29 年 9 月 8 日(金) ・ 9 月 29 日(金) ・ 10 月 20 日(金)の 3 回シリーズ 9:30~17:00

◇会場：浜松アリーナ 第 2 研修室 詳細は後日ご案内いたします。

◇研修代金: お一人様 75,600 円税込 (昼食は各自ご用意ください) 少人数制 10 名まで

御社名:		ご住所	
お申込担当者:		TEL:	
お役職		FAX又は E-mail:	
参加者お名前:	参加者お名前:	参加者お名前:	
<input type="checkbox"/> もう少し詳しく聞きたい	<input type="checkbox"/> 参加希望	<input type="checkbox"/> 参考資料希望	

※ 返送先 有限会社キャリア・アップ FAX 053-411-6859 担当 花田まで

配信停止 (FAX:)

メール配信切り換え (メールアドレス)

ご記入の上、弊社FAX053-411-6859まで送信をお願い致します。